

○青葉まつりに参加した生徒の感想



教育実習生による灌仏



鹿野融真僧正による記念講話

3年 D.Hさん

鹿野 融真 様

拝啓

入梅の候、御住職様始め皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。先日は貴重な講話をしていただき、本当にありがとうございました。

曼荼羅の詳しいこと、そして個々の命の平等さについて教えて頂きました。鹿野様が学生時代はキリスト教の学校に通われていたと聞いて、私もキリスト教を信仰している幼稚園に通っていたこともあり、キリスト教と仏教の違いを、身をもって体験しているところが自分にも重なるなと感じました。幼稚園では「アーメン」と言ってお礼拝する時間があったり、教会に行ったり、12月25日には劇をしたりしていました。高校生になって、仏教の授業があったのでたくさんの知識を得ましたが、やはり仏教はキリスト教よりも知られていないことがたくさんあるなと感じました。

私が入学して初めてアリーナのステージの曼荼羅を見た時、ステージの壁が開いたところから金色に光り輝く大きなものが出てきたことにとっても驚きました。それに描かれた絵や込められた意味について知識がなかったので、今回のお話を聞いて沢山のことを学ぶことができました。大日如来のいらっしゃる悟りの世界、曼荼羅でいう中心に向かって、中心から外に広がる人間に近い者達、それも殺人や盗みといった罪を犯した人たちも含め、命ある者が収束していく様子を表していることを理解しました。それぞれの命が尊重され、輝けるように、自分のことだけを考えるのではなく他人の考えや感覚のことも気に留めることが大切だということを学びました。

このコロナ禍で、新たな問題や決めなければならないことが出てきて、色々な意見が交わされる状況が続いています。そんな今だからこそ、今まで以上に自分勝手にならず、他人の意見を尊重していこうと思いました。

爽やかな初夏のみぎり、皆様のますますのご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

敬具



3年 Y.Hさん

ご講話いただきありがとうございました。

仏様を中心に、周りを囲うように人を描くことによって仏様と人の関係性、今日お話に上がっていた命の価値というものを表しているとのことでしたが、私はあの曼荼羅の絵を見て違和感を覚えました。命の価値は平等であるという表現がなされているとのことでしたが、本当に命の価値が平等ならば仏様を一番大きく描いて、その次に僧侶の人達を、最終的に一番外の円にはその他の人々を小さく描くという構図になるのかというところです。私にはまるで遠近法を使って上から見たピラミッドのように見えました。平等という言葉が謳っているのならばみんな同じ大きさで描くべきだと感じました。ですが、最後の「犯罪に手を染めた人命を奪われている人この人達が存在する世の中で命は平等であるという唱えは本当に合っているのか？」という問いかけを聞いた時、もしかして本当は命の価値は平等ではなく差が生まれてしまうということを最初から示唆して描かれているとなると、曼荼羅の絵を最初に描いた人はとても賢くて凄い人だなと思いました。

曼荼羅とはサンスクリット語で、「円・輪及び中心との関係」という意味を持ち、聖域・仏の悟りの境地、世界観などを仏像・シンボル・文字などを用いて、視覚的・象徴的に表したものともされていること知って、他にも曼荼羅のような構図を色々調べてみました。自然界で例えると、花や木の断面、雪の結晶、宇宙の太陽を中心に惑星が周りに広がっている、など、曼荼羅は沢山のところに存在していました。イラストにも中心から全部対称になる様な構図を曼荼羅と指すとのことでもまるで万華鏡のように綺麗なイラストが沢山見られて面白かったです。改めて本日はありがとうございました。